



本部研修会

平成30年10月16日(火)
徳島グランヴィリオホテル
受講者: 157名

研修委員長 八田 隆志 (八田不動産)

わが国では、大型台風の上陸、西日本豪雨、北海道胆振東部地震など、様々な自然災害に見舞われております。また、南海トラフ巨大地震が30年以内に70%の確率で発生するといわれており、徳島県では地震とともに津波の被害も甚大で、家屋の倒壊やライフラインが途絶える中、不動産業者として何をすべきか?を考えなければなりません。

そこで、宮城県宅建協会の佐々木会長を講師にお招きして、第1部として【東日本大震災から学ぶ、宅建・管理業者のリスクマネジメント】と題して講習を行いました。

不動産業者として事前の備え、そして、災害発生時にどう対処すべきか?を整理しておく必要があります。佐々木会長が震災発生後、自ら写真を撮影され、経験をもとに例を挙げて説明してくださいました。経験した者にしかわからないお話に心が揺さぶられました。

また、不動産業者自身が被災者である中で、【自助】【共助】【公助】の考え方が重要であります。家主様・入居者に寄り添って、人として関わり共に力を合わせ乗り越えていかなければなりません。

今回の講習が【今、何ができるか?】【災害発生時に何をすべきか?】を考えて行動に移す機会

になっていただければ幸いです。

第2部では、昨年度、特別委員会を立ち上げ、検討を重ね策定いたしました契約書・重要事項説明書が、4月1日より当協会ホームページに掲載されております。【新 徳島版契約書・重要事項説明書の解説】と題して、張常務理事に講習をしていただきました。全宅連の契約書と重要事項説明書をベースにしなが、徳島版として作り上げたところを的確に解説していただきました。今後も法改正に対応し、会員の皆様の意見を参考にしながら、向上心をもって契約書・重要事項説明書を作り上げていければと思います。

最後に、研修委員会では、少しでも魅力的な本部研修会を目指して頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。



張裕信常務理事



佐々木正勝氏

